

専修大学LLだより

目次

特集 そうだ、LLへ行こう！

LL 教室への招待（経済学部兼任講師 渡辺 隆司）	2
落ち着いた空間 生田 LL 大図解	3
これが噂の 神田 LL 自習室だ!!	4
恐る恐る、タブーに迫る（商学部兼任講師 一色 真由美）	5
LL インフォメーション	6
（新着教材 / LL セミナー開催予定のお知らせ / LL スタッフ紹介）	

神田校舎 LL 自習室 入り口付近



LL 研究室

LL 教室への招待



LL 教室というのは大抵の大学にあり、最新の設備が入った充実した施設であるのが普通です。ただ、LL 教室というものがいったい何なのかということについては、分かっているようで分かっていないことが多いようです。そこで、学生として、さらには教員として長年 LL 教室とつきあってきた経験から、ここでは LL 教室の移り変わりを考えてみたいと思います。

私が大学に入学したのは今から 35 年ほど前ですが、その頃から LL 教室というのが各大学に設置され始めたのではないのでしょうか。初期のオープンリールでは、テープレコーダーから流される音声をヘッドフォンで聴くといったものでしたが、カセットの時代になると、教卓からの音声を各自で録音して自分で繰り返し聞くという作業ができるようになりました。ただ、いくら最新鋭の機器を使っている、テープを聞いて繰り返すだけに過ぎないこのような授業は、コミュニケーションの観点からするとあまり意味がなく、退屈なものでした。

私がフランスに留学した 25 年ほど前は、フランス語教育の世界では、スライドとテープを用いたクレディフという教材が流行しました。このクレディフ方式は、ある具体的な状況の中に学生を置き、フランス語でコミュニケーションを図らせようとする画期的なものでした。学生たちに実際のシチュエーションを演じさせるという方法は、今日まで有効なものとして残っています。

その後ビデオが普及し、LL 教室にもテレビとビデオが設置されるのが普通になりました。海外旅行が身近になったこともあり、

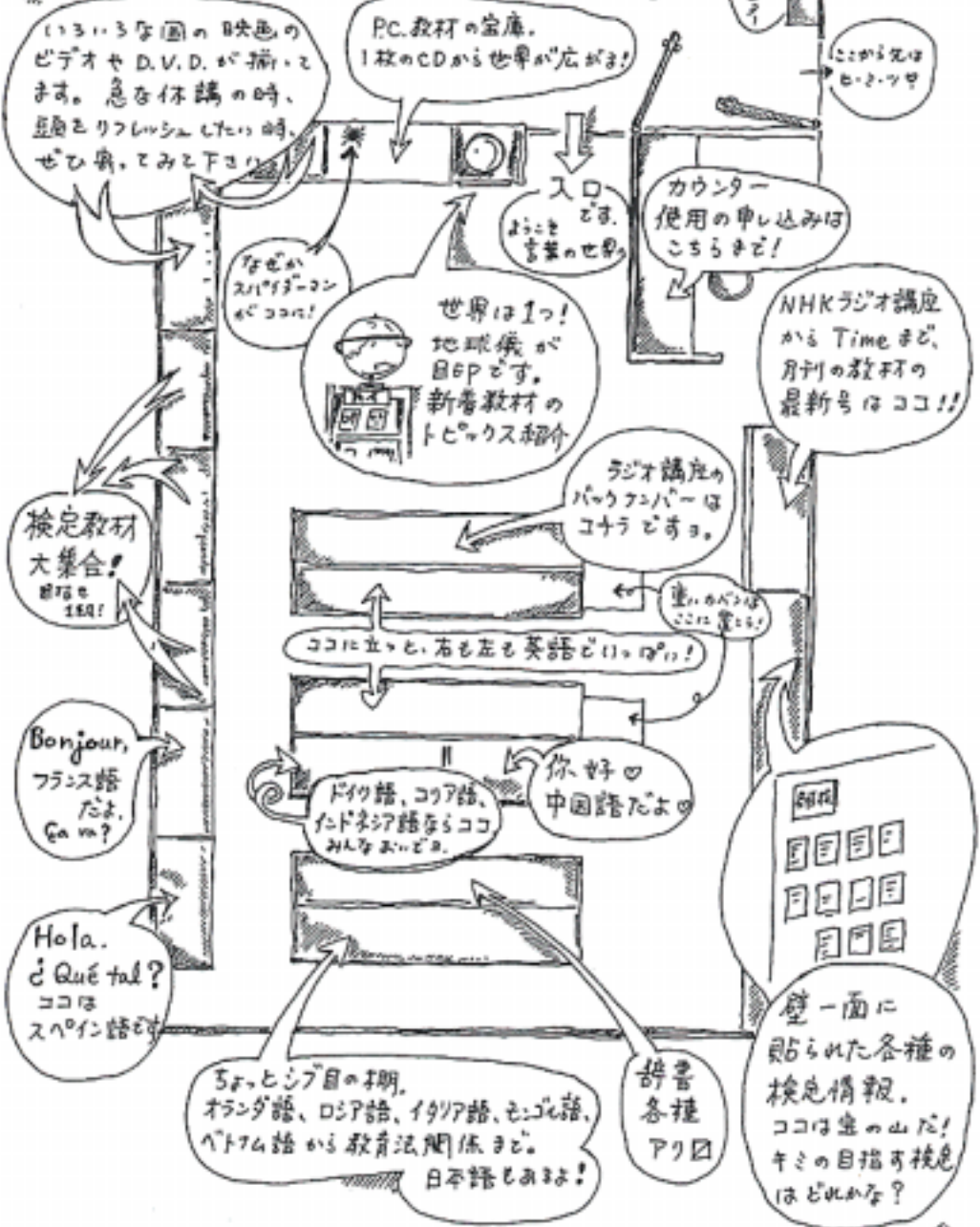
授業が従来の訳読中心から会話中心に少しずつ移行し、LL 教室での授業は、映像と音声を組み合わせた情報を元にした会話練習の形をとることが多くなりました。また *Entrée Libre* など、いくつものすぐれた教材が開発されました。

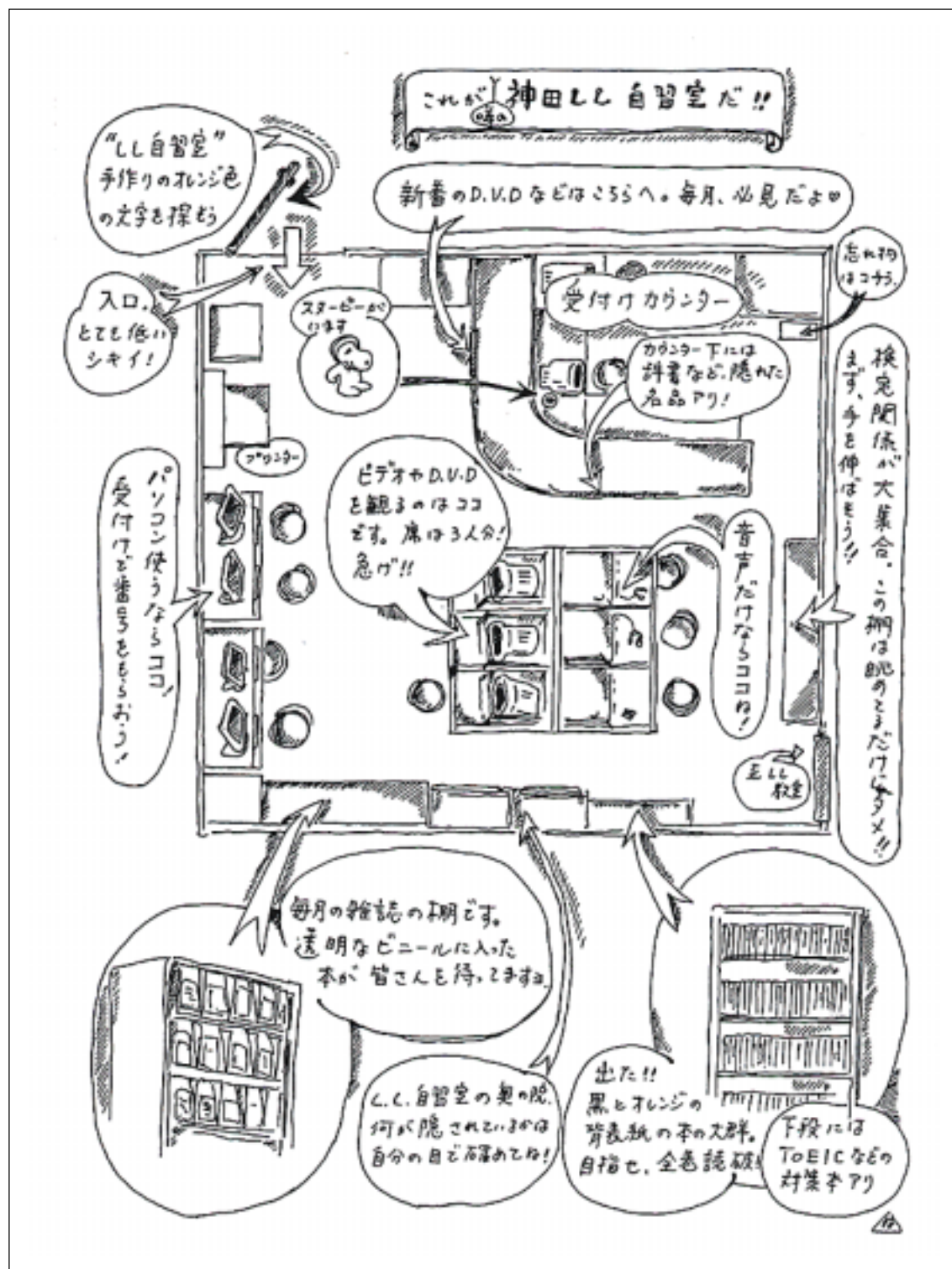
ここ 10 年ぐらいの LL 教室の趨勢は、コンピュータの導入です。初めはキーボードの使い方を知らない学生も多かった。ところが 5 年ぐらい前から一般家庭にコンピュータが普及するとともに、インターネットの発達によって、学生の席の端末からインターネットに接続することが可能になってきました。こうして、LL 教室での授業もネットから必要な情報を検索するノウハウの伝授という方向性が出てきたのです。インターネットではオン・タイムの現実のドキュメントと触れることになるわけで、既成の教材とは現実感がまったく違います。現時点では音声や動画は発展途上の段階ですが、これもブロードバンドの発達でごく近いうちに生々しい情報が提供されることになるでしょう。もっとも、語学教育の観点からすると、初級や中級の学習者にインターネット上のフランス語のページを見せても、あまり効果は上げられません。ではどうするのか？ 答えはまだありません。いずれ、時とともに落ち着くところに納まるでしょう。

このように、LL 教室というのは数十年の歴史を持つ存在です。とはいえ、すでに形の決まったものではなく、時代に即応して不断に変化していく運動体と考えた方がいいでしょう。現在も、教員はさまざまな教材や機材を用いて、学生諸君のニーズに適應した授業をしようと格闘しているところです。LL 教室を用いた授業がつねに華々しい成果をあげるという保証はありません。しかし、そこが現在の語学教育の最先端が垣間見られる場所の一つであることは、間違いないでしょう。

経済学部兼任講師 渡辺 隆司(フランス語)

「いつと来ぬをB.G.H.の流れてくる」
 落ち着いた空間 生田しし大図解





恐る恐る、タブーに迫る



私は神田で2年生の英語リスニングと読解、生田ではスクリーン・イングリッシュと表現を担当しています。LL 教室を使い始めたのは99年。最初は使い慣れない機材の操作に冷や汗が噴き出し、悪戦苦闘しているうちに時間が過ぎてしまった。しかも朝1限の授業。出席率は？ それは立派なものでしたよ。当時の学生諸君はグループディスカッションも英語でこなした。教室は笑いが充満して、眠気もいっぺんに吹き飛んだものです。

さて現在の私のLL教室は、『MOVING MOVIES 感動のスクリーン・イングリッシュ』なるおしゃれなテキストも完備し、良質の見応えある映画を教材に使っています。カリキュラムも確立し、数年前の1限の授業に比べたら、天国のように甘く優しい授業を皆さんは受けているはず。

ところがこのクラス、いまひとつシャキッとしないんだなあ、なぜか。

今しっかり味わって、吸収しないと、この作品と出会う機会は二度とないかもしれない。一種のハングリー精神とか知的な好奇心、異文化社会や人間に対する関心が、年々薄れてきているのを実感せざるを得ません。それなくして語学だけの進歩などあり得るだろうか？ 強大なる無関心の波が

根こそぎ押し流してしまうのか？ いやいや、そうはさせないぞ、と残りの授業数を数えつつ眠れない夜を過ごしている(?)私です。

「映画」という魅力ある媒体を英語教育に持ち込むには、それなりのリスクが伴います。「暴力」、「SEX」、「汚い言葉」。この3つはタブーです。その中でもっとも避けるべきは、凄絶な暴力シーンといわゆる4文字言葉の連発。若い人たちに人気絶大なエミネム主演の『8 Mile』は、上質の感動作品であるのに、残念ながら暴力シーンが多すぎて使えない。英語もメチャクチャ汚い。例えば教科書『MOVING MOVIES』に載せた『ボイズ・ドント・クライ』などにも暴力シーンやセックス・シーンは登場するのですが、ネイティブの執筆者たちとも協議した結果、作品の教育性を評価して載せることにしたのです。そして1年後、この映画はLLとスクリーン・イングリッシュの学生諸君には、いい意味の興奮と共感をもって迎えられた。衝撃性の高い作品ほど、タブーと感動、授業の失敗と成功が隣り合わせになっていて、スリル満点です。

移ろう学生気質とともに、授業で取り上げる映画も変化していくでしょう。

よく「英語のスラングを覚えたい」といってくる人がいますが、俗語は理解する程度にとどめ、しゃべらないほうがいい。ちっともカッコ良くなんかないし、物議をかもすだけのことだから。

表層的な学習を追いかけず、いいものを深く味わって心の充足をはかる。そこから語学力は雨後のタケノコになるのです。

商学部兼任講師 一色 真由美(英語)

LLインフォメーション

新着教材

Penguin Readers Set Easystarts ~ Level 6 Oxford Bookworms Library Pack(131 titles)

神田 LL 自習室に Penguin と Oxford の Graded Readers が配備されました。GR とは使用される語彙が限定されている副読本のことです。初級は 200 語レベルから上級は 3000 語レベルまで、13 段階 (Penguin は 7 段階、Oxford は 6 段階) に分かれています。これにより学習者は自身の目的に合わせた読解スキルの練習をしていくことができます。

まず、辞書を引かないで多読ができます。授業では 1 回 90 分に 4 ページくらいしか進まない英文読解も、これなら同じ時間で 1 冊 (40 ページ程) を読み終えることができます。1 週間に 1 冊読むことを決めて、少しずつレベルを上げていくのもよいでしょう。また、初級レベルを読む場合には速読の練習になります。1 冊を自分が設定した時間内に読み終えるようにしてみてもはどうでしょう。これまで以上に英語に触れる量が増えること間違いなしです。 法学部 上原正博 (英語)

* 生田校舎の学生が利用を希望する場合は、生田校舎 LL 事務室に申し出てください。利用可能です。

韓国映画 (DVD)

生田・神田校舎に韓国映画 (DVD) を用意しました。韓国語の学習に活用してください。

「友へ チング」(2001 年 ヒューマンドラマ)

「火山高」(2001 年アクション)

「アウトライブ」(2000 年 SFX 史劇スペクタクル)

その他 10 作品あります。

韓国語レッスン初級 ・ (CD 付)

スリーエーネットワーク発行

生田・神田校舎に上記教材以外にも韓国語教材を多数用意しました。利用してください。

LL セミナー開催予定のお知らせ

下記セミナーを予定しています。詳細は掲示参照。
中国語セミナー (生田校舎)

- 9 月 18 日 (木) 3 限 LL 教室 A -

LL 教室活用のしかた (神田校舎) 日程未定
フランス語セミナー (生田校舎) "

LL スタッフ紹介

次号に引き続き LL スタッフを紹介します。今回は神田校舎スタッフと 6 月 1 日より配属の生田スタッフの紹介です。



神田校舎スタッフ (左から順に)

二部事務課 谷貝、教務課 赤松、自習室受付 山邊

神田 LL 自習室は、地下 1 階の休講掲示板の裏手にあります。一昨年夏に室内をリニューアルしたばかりでとってもきれい! 新しい教材 (雑誌・CD・DVD) が続々と入荷していますよ! これから心機一転語学に少し力を入れてみようと思っているあなた!! 一度遊びに来てください。



生田校舎新スタッフ LL 自習室受付 垣根



窓口でお待ちしています。自習室の利用方法、自習教材について、etc... 何なりとお尋ねください。

編集後記

今回は、ちょっとビジュアル系です。題して「そうだ、LL へ行こう! 生田 ~ 神田 二都物語」。BGM はもちろん、「My Favorite Things」ですね。(ね)

専修大学 LL だより 第 20 号

発行日 2003 年 7 月 1 日
(平成 15 年)

編集発行 専修大学 LL 研究室
室長 三浦 弘

〒214-8580 神奈川県川崎市多摩区東三田 2-1-1

URL: <http://www.gkk.senshu-u.ac.jp>

* 上記ホームページで「LL だより」をカラーで見られます。